学校番号	1301

令和８年度　総合科

教科	総合	科目	言葉と文化Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本授業では、外国にルーツのある生徒を対象として、日本で生活するうえで欠かせない日本語の上達および学習の際に使用するより複雑な日本語の理解、また母文化の継承をめざして学習していきます。決まった教科書等は使用せず、複数のテキストを貸し出す形で幅広い学習をしていきます。教員は複数体制で行うため、教員によって違うテキストや授業展開になることがあります。

2　学習の到達目標

現在の日本語の言語運用能力の向上および母文化の継承をめざします。
【知識及び技能】
日本語の語彙を増やし、より円滑にコミュニケーションをとれるようになる。
【思考力、判断力、表現力等】
日本語で書かれている文章を理解し、自分の考えを日本語で書き伝えることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
母語を保持し、母文化への理解を失わずに日本でも母文化を伝えることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本語の単語を理解し、適切に使用できる。 ひらがな･漢字･カタカナの使い分けを行い、正しく書くことができる。 敬語や熟語などの普段使わない言い回しの知識を持ち、使い分けることができる。	教員やクラスメイトの発言を聞き取り、適切に判断した上、自らの考えを日本語で伝えることができる。 母文化について理解していることを、文化の違いを考えた上で工夫して表現できる。 場面や場所に合わせた適切な言葉遣いをすることができる。	日本語運用能力を上達させようと積極的に授業に取り組もうとしている。 自らの言語運用のミスを改め、より適切な表現を使おうと改善する姿勢を持っている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ1	語彙	日常的に使う言葉から、フォーマルな場面で使う言葉まで、幅広い語彙を学習する。同時に書き取りも行う。	a:漢字などを適切に使い分けて表記することができる。 b:語彙が使われるべき場面を考えて使い分けることができる。	小テスト	小テスト	
	シャドーイング	テキストと音声に沿って、会話文を声に出す会話練習を行う。ネイティブのイントネーションに気を付けて聞く力を鍛える。	b:聞き取った言葉を正確に発音することができる。会話の内容を理解できている。 c:集中して聞き取り、声を出して取り組んでいる。		口頭質問	授業態度
ステージ2	ディクテーション	やさしい日本語で書かれたニュースを聞き取り、書き写す。正確に聞き取る力と正しく記述する力を鍛える。	a:聞き取った言葉を文字で正しく表記できる。 b:聞き取った言葉を理解し、内容を把握できる。 c:集中して書き取りに取り組み、間違えた個所の改善を試みている。	ワークシート	口頭質問	授業態度
	文法	日本語の複雑な文法について、日常的に使用するものから学習していく。	a:品詞や語順などの基本的な知識を持っている。 b:文法の仕組みを理解し、会話等に応用できる。 c:使用している日本語の表現を見直し、より正しく改善しようと取り組んでいる。	小テスト	ワークシート	授業態度
ステージ3	ディスカッション	定められたテーマについての調べ学習を行い、それについてのディスカッションを行うことで、実践的な会話の力を身につける。	a. 言葉を正確に選択し使うことができる。 b. 状況に応じて話す内容を考えて発言につなげている。 c. 意欲的に準備や議論に取り組んでいる。	ワークシート 発言内容	ワークシート 発言内容	授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度